

平成 29 年 度

群馬県公立高等学校

入学者選抜学力検査問題

国 語

(前期選抜)

注 意 事 項

- 1 「始めなさい。」の指示があるまで、問題用紙を開かないこと。
- 2 解答は、すべて、解答用紙に記入すること。
- 3 「やめなさい。」の指示があったら、直ちに筆記用具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置くこと。
- 4 問題は、1 ページから 6 ページまであります。
- 5 解答用紙の、小計の欄には何も書かないこと。

一 次の(一)～(四)の問いに答えなさい。

(一) 次の①～⑤の——の平仮名の部分を漢字で書きなさい。

- ① 友人にそうだんする。
- ② 統計学をせんもんに研究する。
- ③ 書店でしゅうかん誌を買う。
- ④ むねをなで下ろす。
- ⑤ あつみのある紙を用いる。

(二) 次の①～⑤の——の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

- ① 齒車がかみ合う。
- ② 水道の蛇口をひねる。
- ③ 畏敬の念を抱く。
- ④ 空を仰ぎ見る。
- ⑤ シートで地面を覆う。

(三) 次の二つの四字熟語の□に共通して当てはまる漢数字を書きなさい。

□ 載一遇

□ 変万化

(四) 次の文の□に当てはまる表現として、後のア～エから最も適切な

ものを選びなさい。

彼が引越すという知らせは、まさに□であり、非常に驚いた。

- ア 魚心あれば水心 イ 立て板に水
- ウ 寝耳に水 エ 焼け石に水

二 次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の①、②の文について、――の部分の表現上の誤りを正しく改めたものとして、後のア～エから最も適切なものを選びなさい。

① 彼女の長所は、時間を決して守ることだ。

ア あわや イ 必ず

ウ 少しも エ 万が一

② 祖父に招待された私たちは、レストランで夕食を召し上がった。

ア いただいた イ うかがった

ウ お食べになった エ お召しになった

(二) 次の文について、――の部分の主語となる文節として、後のア～エから最も適切なものを選びなさい。

迷いの多い少年期こそ、周囲の人々の助言が必要な時期である。

ア 多い イ 少年期こそ

ウ 人々の エ 助言が

三 次の文章を読んで、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

(『伊勢物語』による。)

(注) 京……都。

あづま……東国。

伊勢、尾張のあはひ……現在の三重県と愛知県の県境あたり。

海づら……海辺。

(一) 文中「いと」の意味として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア いきなり イ たいそう ウ ゆったり エ わずかに

(二) 文中「かへる」を現代仮名遣いで書きなさい。

(三) 文中の和歌についての説明として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア 波立つ海の前に立ち、困難を乗り越えていく覚悟を決めている。

イ 波と自分を比べながら、憧れ続けた東国への思いを強めている。

ウ 波の音に恋人の歌声を重ね合わせ、一人の寂しさを紛らしている。

エ 波の様子を自分の境遇と照らし合わせ、都への思いを募らせている。

四 次の文章を読んで、後の(一)、(二)の問いに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

(『老子』による。)

(一) 文中――「勝人者有力」について、「人に勝つ者は力有り」と読むように返り点を付けたものとして、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア 勝_レ人 者 有_レ力

イ 勝_レ人 者 有_レ力

ウ 勝_二人_一 者 有_レ力

エ 勝_二人_一 者 有_二力_一

(二) 本文の内容についての説明として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア 他人にはない自分の良さを生かしながら、他人と自分との友好的な関係を築くことの尊さについて述べている。

イ 自分とは異なる他人の考え方を認めながら、自分の考えを他人に主張することのすばらしさについて述べている。

ウ 他人を知ることや他人に勝つことと比較しながら、自分を知ることや自分に勝つことの意義深さについて述べている。

エ 他人を知ることよりも他人に勝つことを強調しながら、自分一人で社会を生き抜くことの大切さについて述べている。

五 次の文章を読んで、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権の関係により本文は省略します。

(石黒圭『語彙力を鍛える』による。)

(一) 文中 に当てはまる語として、次のア～エから最も適切なものを選びなさい。

ア しかし イ だから ウ つまり エ また

(二) 文中A——「外来語なしでは表現することが難しくなっていていま」とありますが、海外の用語などを取りいれるのに外来語が適しているのはどうしてですか。その理由を次のように説明するとき、

に当てはまる表現を、本文から七字で抜き出して書きなさい。

外来語は、海外で使われている概念を、 によって、そのまま日本語として表現することができるから。

(三) 文中B——「和語・漢語・外来語がおたがいの長所を生かし、おたがいの短所を補いながら日本語の語彙の体系を形作っているわけだ」とありますが、抽象的な内容を表すのに向かないという和語の短所については、漢語と外来語のどちらで補うことができるといえますか、本文の内容を踏まえ、理由も含めて書きなさい。

(四) あなたは、地域の人たちに対して学校紹介のスピーチをすることになりました。和語・漢語・外来語がもつそれぞれの性質を踏まえると、どのようにスピーチの原稿を作成するのがよいと考えますか、次の「条件」1、2にしたがって、九十字以上、百二十字以内で書きなさい。

「条件」1 筆者の考えに基づいて書くこと。

2 和語・漢語・外来語のうち二つ以上に触れて書くこと。